



< 本件 3 枚 >

和歌山県すさみ町を舞台にした3年半の地域活性化活動に高評価
摂南大ボランティア・スタッフズなどの学生らが
農林水産省等主催事業「オーライ！ニッポン大賞」の
審査員会長賞を受賞

摂南大学（学長：今井光規）文化系クラブのボランティア・スタッフズ（顧問：外国語学部浅野英一教授）と摂南大学PBLプロジェクトのメンバーは、農林水産省などが主催する「第10回オーライ！ニッポン大賞」において、和歌山県すさみ町を舞台にした地域活性化活動の内容が評価され、全国112件の応募の中から、栄えある審査員会長賞を受賞しました。オーライ！ニッポン大賞とは都市と農山漁村を人々が「往来」し、双方の生活文化を楽しみながら、日本が「All right（健全）」になることをコンセプトに実施され、都市と農山漁村の共生や交流に関する優れた取り組みを表彰するものです。同大学は2010年3月3日に和歌山県すさみ町と包括連携協定を締結。この協定に基づき、学生が同町でさまざまなフィールドワークなどを行ってきました。その中でも部員数120人を越え、「摂南大学の元気」の象徴的存在でもあるボランティア・スタッフズはイベントの運営、小学生が参加する夏のキャンプの実施、またお年寄りの見守り訪問活動や盆の伝統行事の復活継承など、若い力で盛り上げてきました。審査員からは片道5時間かけて通い続ける学生の頑張りや同町の人々との関係構築について好評をいただき、限界集落活性化の1つのモデルになってほしいとの期待も寄せられました。

つきましては、同部の取り組みの様子などを取材していただければと存じます。
何卒よろしくお願いたします。



11月10日に東京国際フォーラムで行われた表彰式の様子

添付資料：1枚【オーライ！ニッポン表彰式パンフレット（抜粋）】

【お問い合わせ先】

摂南大学外国語学部浅野研究室

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8 TEL.072-839-9359

摂南大学地域連携センター（担当：小出）

TEL.072-829-0385 FAX.072-829-7888 E-mail:chiiki@ofc.setsunan.ac.jp

【本件発信部署・取材のお申し込み先】

学校法人常翔学園広報室（担当：油井、木村） TEL.06-6954-4026

「第10回オーライ！ニッポン大賞」の詳細については下記の農林水産省のURLを参照。
摂南大学は関西で唯一の受賞となりました。

URL <http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/121101.html>

すさみ町と連携したボランティア・スタッフズの近年の主な活動（抜粋）

<2009年度>

- 12月22日 ・すさみ町民との交流会
- 3月21日 ・「ケンケン鯉祭り」運営支援、模擬店参加

<2010年度>

- 5月3日 ・イノブータン王国建国25周年祭のイベントスタッフ、運営支援、模擬店参加
- 7月2日～4日 ・「ビルフィッシング大会」運営支援
- 8月17日～22日 ・すさみ町で寝屋川市立桜小学校5・6年生児童を対象に「忍者キャンプ」を実施
- 10月16日～17日 ・「すさみフェア in 寝屋川」運営支援、模擬店参加（大阪府寝屋川市）
- 3月19日 ・周参見小学校5・6年生を対象にした「ロボット教室」開催
- 3月20日 ・「ケンケン鯉祭り」運営支援、模擬店参加

<2011年度>

- 5月3日 ・イノブータン王国建国26周年祭のイベントスタッフ、運営支援、模擬店参加
模擬店では学生が考案した「イノブタ」を使った「イブ丼」、「イブ・ラーメン」を
限定販売
- 7月1日～3日 ・「ビルフィッシング大会」運営支援
- 8月12日～15日 ・すさみ町で寝屋川市立桜小学校6年生児童と周参見小学校児童合同『大学生と一緒に
学ぼう「天オレオナルド・ダ・ヴィンチ」ロボット理科教室 テクノ・キャンプ in
すさみ町』を実施
- 8月13日 ・220年の伝統行事「佐本川柱松（はしらまつ）祭」を2年ぶりの復活に協力
- 11月3日～5日 ・「すさみフェア in 寝屋川」運営支援、模擬店参加（大阪府寝屋川市）
- 12月26日 ・「大震災被災地における人的被害を減らすプロジェクト」のすさみ町での活動報告会
- 3月14日～19日 ・「なんでもやろう隊」によるお年寄りの困りごと解決やお宅訪問活動

<2012年度>

- 5月4日 ・イノブータン王国建国27周年祭のイベントスタッフ、運営支援、模擬店参加
- 7月6日～8日 ・「ビルフィッシング大会」運営支援
- 8月11日～15日 ・すさみ町で寝屋川市立桜小学校、同点野小学校、交野市子供連絡会、児童と周参見
小学校児童合同「忍者キャンプ in すさみ町」
- 8月13日 ・「佐本川柱松（はしらまつ）祭」を継承実施、廃校小学校で夏祭りを実施



■受賞者の概要

- 活動年数：3年（前身活動1年）
- 年間の活動日数：約40日
- 活動エリア：和歌山県すさみ町佐本地区
- 活動拠点施設：旧・佐本小学校（2009年廃校）
- 部員数：約120名

■写真の説明

- ・大阪とすさみ町の子どもたちが共同生活を通じて交流する自然活動体験学習プログラム「忍者キャンプ」が好評（上）。
- ・消失の危機にあった村の伝統行事「柱松祭り」を継承（左下）。
- ・若い労働力の不足に悩む限界集落をサポートする「なんでもやろう隊」（右下）。

■受賞の内容

摂南大学ボランティア・スタッフズは、過疎化高齢化が進む和歌山県南部のすさみ町で様々な貢献活動を実践。大学のある寝屋川市からバスで片道5時間の距離にある同町は、人口約4,700人、町内39集落のうち65歳以上が過半を占める限界集落が19。市と町が友好都市提携をしている縁で、平成22年3月に大学と町が包括連携協定を締結した。

すさみ町は、イノシシとブタをかけあわせた「イノブタ」にちなんだ「イノブータン王国建国祭」や、鮮度と独特の漁法が特徴の「すさみケンケンかつお」をPRする「すさみケンケンかつお祭り」など、各種のイベントを開催してきた。担い手不足で年々開催が困難となってきたため、学生たちが会場係、裏方係、準備係、駐車場案内係、盛り上げ隊など様々な形でイベントの開催を支援。これまでの3年間に計13回、延べ370名の学生が参加した。

山間部の佐本地区にある旧・佐本小学校（平成21年廃校）を拠点に、自然活動体験学習「忍者キャンプ」を毎年夏休みに実施。これまでの3年間に寝屋川市など大阪の子どもたちと学生スタッフ等400名が参加し、地元の住民や子どもたちと交流している。竹ランタン等の工作を通じてものづくりの楽しさを体感できる「忍者工作教室」、自主性

や協調性の育成をねらいとした「忍者ゲーム」、川遊びは「忍者水遁の術」、夜の小学校校舎を探検する肝試しは「子供忍者による鬼退治」という具合に、学生たちは毎回知恵を絞り、子どもが興味と関心を持ち、教育効果が得られるプログラムを企画している。

佐本地区に220年以上伝わる「佐本川柱松祭り」は、お盆の夜、20メートル近い高さの柱の上に松明を投げ上げ、先端に取り付けた鳥の巣状のわらに点火させ高所の炎で天に願をかける伝統行事。主催してきた地元保存会の解散により消滅が危惧されたが、24年からは元保存会会員らの指導を受けながらスタッフズが継承することとなった。

「なんでもやろう隊」は、佐本地区の高齢者の困りごとを解決するため、交流会で学生が住民ニーズを聞き取り、雑草刈り、水路掃除、築100年の旧・上戸川小学校校舎の修繕、一人暮らしの高齢者のお宅を訪問する見守り活動等を実施している。

一連の活動は、佐本地区、公民館、NPO、観光協会、町、県等、多様な主体の協働によって支えられている。これらの活動を通じて、地元には地域づくりに向けた元気と意欲が生まれ、学生は自ら課題を発見し解決する能力、責任感、プロジェクトを動かす協調性等を身に付ける効果が期待されている。



片道5時間かけて通い続ける学生たちの頑張り、大学本体が町と包括連携協定を結び積極的に地域づくりに参画する姿勢から、活動の継続性と信頼性が高いと評価されました。地元の人々との関係の築き方など、限界集落活性化の一つのモデルになってほしいと期待しています。